

# 中山議員提出資料

平成 1 7 年 4 月 2 5 日

# 第3期科学技術基本計画の「5つの戦略」

～ 知の大競争時代を先導する科学技術戦略～

21世紀の世界大競争と人口減少時代を迎えて、次の5つの戦略に重点を置き、環境保護と経済成長を両立し、持続可能な発展を実現する科学技術創造立国を目指す。

## 1 「人材」戦略

人口減少時代を迎えて、科学技術関係人材の質と量を確保。能力主義に基づき、個々の人材が生きるシステムを構築して強靱な科学技術振興の基盤をつくる。

## 2 「基礎研究」戦略

多様性を確保して推進。世界最高の科学水準を目指す。

## 3 「イノベーション」戦略

知の創造から活用までを切れ目なく支援。連続的なイノベーションを創出し、研究成果をしっかり社会に還元する。

## 4 「基幹技術」戦略

長期的な国家戦略を持って取り組むべき国力を象徴する重要技術を推進。

## 5 「国際」戦略

国際活動を戦略的に推進。国際環境に的確に対応し、世界の研究者を惹き付ける。

# 1 「人材」戦略

2 「基礎研究」

3 「イノベーション」

4 「基幹技術」

5 「国際」

人口減少時代を迎えて、科学技術関係人材の質と量を確保。能力主義に基づき、個々の人材が生きるシステムを構築して強靱な科学技術振興の基盤をつくる。

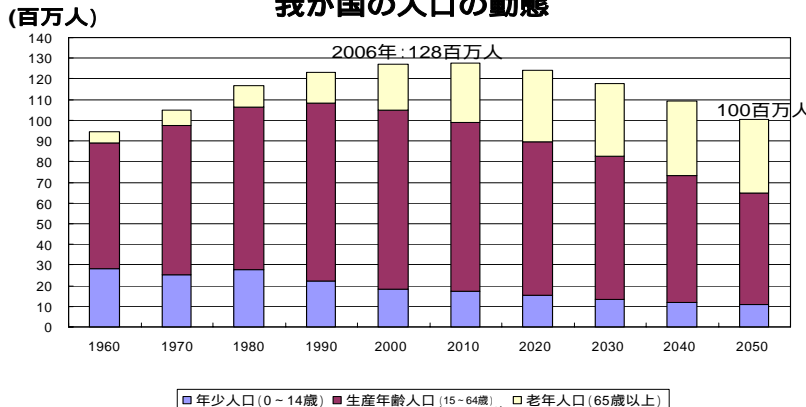
- ・ 理数好きの子どもを増やし、興味・関心の高い子どもの個性や能力を伸ばす
- ・ 大学院の教育研究機能を抜本強化  
 総合的・体系的な大学院教育振興の推進
- ・ 若手研究者が切磋琢磨し、自立して活躍する仕組みを導入
- ・ 女性、外国人、高齢者等多様な人材層の活躍促進

## 人口減少社会の到来

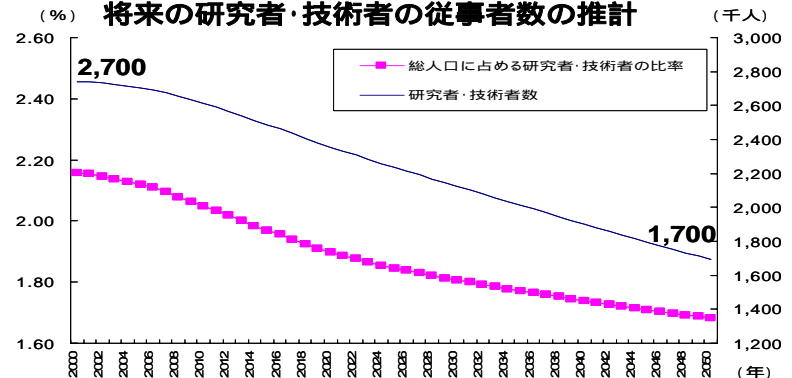
日本の人口は2006年をピークに、2007年から減少傾向。

研究者・技術者も減少が懸念。

我が国の人口の動態



将来の研究者・技術者の従事者数の推計



注) 1990年までは、国勢調査による実数値で、年齢不詳の数は含まない。2000年以降は、国立社会保障・人口研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月)」中位推計値  
 出典: 厚生労働省「厚生統計要覧(平成13年版)」

出典: 科学技術白書(平成15年版)